



川口 憲男議員

地域振興

さつま町の活性化は

町長／中核都市を目指して行く

川口

合併後4年間で100人を超える人口減、高齢化率35.8%という状況にある。農林業の後継者や農地荒廃への対策など、町全体の活性化が望まれる。今さつま町に必要な活



共同播種（あながわ営農組合）

活性化策は、何だと思われるか。町長の考えは。

町長

恵まれた自然、豊富な温泉、地域、人、特色ある町づくりを描きながら、町民の皆さんのが、故郷に誇りと愛着を持ち、また町外からの訪問者が、よい町だと再び訪れる、町づくりが大事だと考えます。農業の後継者が生まれるには、農家の頑張り、農家所得の向上、経営が成り立つ仕組み、条件整

備には行政の立場で、JA等関係機関と連携し、中核都市をめざして行きります。商業の活性化は、周辺の農家の所得向上で購買力を高めるサイクルが必要です。まちが元気を持つ取組を総合的考え方で取組みます。

その他の質問

・若者の定住促進策は

内之倉
道路整備は地域活性化を推進する町の責務である。特に小集落は遅れているが、厳しい財政の中で町長の考えを伺う。

町長

町道整備計画について総合振興計画や合併協議での申し合わせ事項等に基づいて、優先度等を考慮しながら整備を進めているところであります。なお、振興計画「17～21年度」では70路線を計画し現在51路線が整備中及

び整備済であります。国においては道路特定財源の廃止や公共事業の大額見直し等、特に公共事業は18.3%の減と厳しい状況であります。本町の財政も厳しい状況であります。新規路線については、緊急性、日常生活への影響等を検証しながら計画的に整備して行くよう努めて参りま

道路行政

町道整備について
町長／合併協議での申し合わせ



内之倉 成功議員



整備が待たれる町道佐志中央線